

社会福祉士初の全員合格

ハ 戸

八戸学院大学人間健康学科の社会福祉士養成プログラムを受講する4年生6人全員が、社会福祉士国家試験に合格した。同大が合格率100%を達成するのは同プログラムを開設した2010年度以降初めて。学生と担当教員が一丸となって試験対策に力を入れてきた成果が表れ、関係者は喜びに沸いている。

(千葉真由美)

社会福祉士国家試験合格の喜びを語る秋山さん(左)と吉田教授



八学大 養成プログラム受講生6人

同学科は国家試験に向けて独自の対策講座を開講。社会福祉士の資格を持つ外部講師を招いての授業や、学生一人一人の苦手分野の指導に取り組んできた。

合格者の一人、秋山あぐりさん(22)は八戸市。高校時代に社会福祉士の仕事に触れる機会があり、自分も障害のある人やその家族に寄り添いたい」と資格取得を目指してきた。試験前は勉強不足を感じ不安だったというが、一発合格を果たし「周囲の支えのおかげ。一番支えてくれた家族、そして先生方、友達、アルバイト先にも感謝したい」と笑顔を見せた。

今春で大学を卒業し、来月から八戸市内の社会福祉法人に就職する。「これまで学んできた制度などの知識やコミュニケーションの取り方を生かしたい」と抱負を語った。他の5人も卒業後、県内外で福祉関係の仕事に従事する。

社会福祉士で健康医療学部同学科の吉田守実学部長・学科長・教授は「受験前まで誰も欠けることなく6人全員が試験対策講座を受講し、互いに刺激になったと思う」と努力をたたえた。